

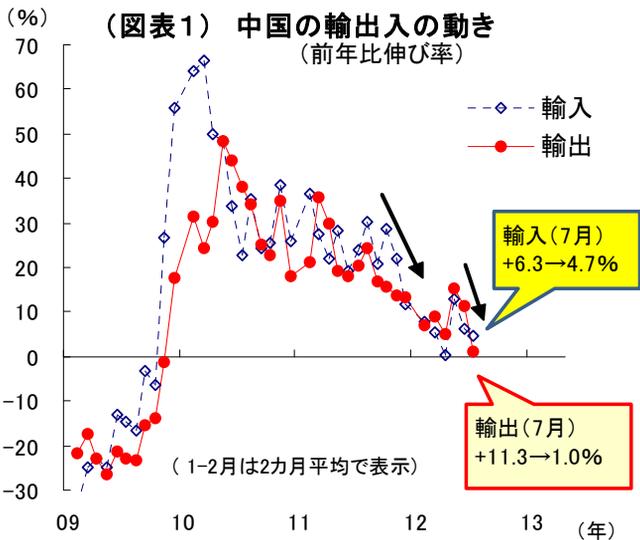
## ～中国の7月貿易統計と金融緩和の動き～

◆8月10日に発表された7月の中国貿易統計では「輸出」が前年比+1.0%増と2009年以来の水準へ鈍化、「輸入」も前年比+4.7%増へと鈍化となりました(図表1)。世界最大の輸出国である中国の輸出鈍化をうけて、市場では世界景気への警戒が強まり、日・欧の株価は下落、米国も小幅の上昇にとどまりました。

◆国別の動きをみると、世界景気を反映する「輸出」では対EUが前年比-16%と大きく減少するとともに、対米国も前月の+11%から+1%へと大幅に減少、外需の低調が一段と鮮明になりつつあります。また「輸入」でも、全体としては若干鈍化している(図表2)ことから、中国の景気は、「外需」「内需」ともに、現時点ではまだ減速基調が継続中といえそうです。

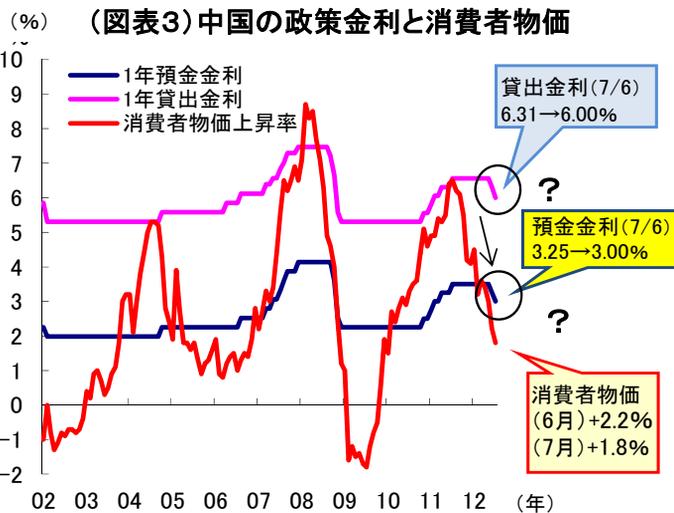
◆一方、景気減速とインフレ沈静化をうけて、追加金融緩和や景気対策の可能性も高まりつつあります。8月9日に発表された7月消費者物価上昇率は前年比+1.8%と6月の+2.2%から一段と鈍化(図表3)、1年預金金利の3.0%を大きく下回る水準にあり、追加利下げの余地は十分にありそうです。

◆中国のインフレとGDP成長率の関係をみると、「インフレのピークから概ね2四半期から3四半期後にGDP成長率がボトムをつける」傾向がみられます(図表4)。インフレのピークは昨年7-9月であり、3四半期後の今年4-6月をボトムに、景気が徐々に回復に向かう可能性も十分にありそうですが、金融緩和や景気対策の規模やスピードがその鍵を握ると考えられます。中国経済が世界の景気や株価に与える影響は大きいことから、今後の動きが注目されます。

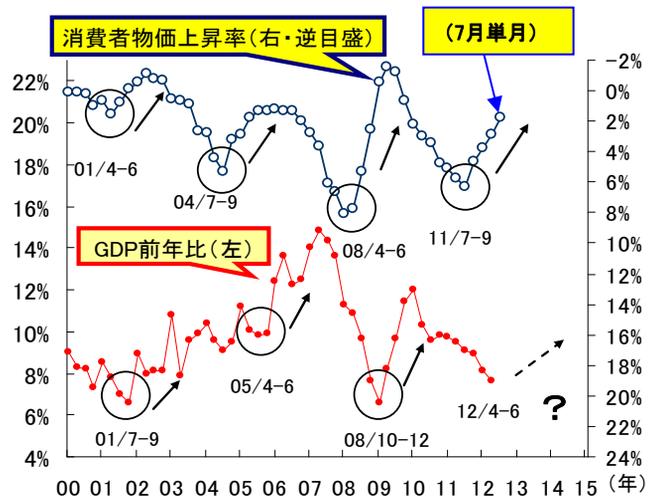


(図表2) 中国輸出入の相手先別前年比  
(億ドル)

(年/月)	輸出		輸入		実額(12/7)	
	12/7	12/6	12/7	12/6	輸出	輸入
EU	-16%	-1%	5%	-2%	294	186
米国	1%	11%	12%	16%	301	102
日本	-1%	0%	0%	-5%	127	162
韓国	0%	7%	2%	-2%	69	137
台湾	-5%	8%	10%	1%	30	114
その他 共合計	1.0%	11.3%	4.7%	6.3%	1769	1518



(図表4) 中国のインフレとGDP成長率



(出所) 図表1～4のいずれも中国国家統計局、中国税関、中国人民銀行のデータを基にニッセイアセットマネジメント作成

当資料は市場環境に関する情報の提供を目的としてニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。当資料のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。